

TFU **実学臨床研究** セミナー

病院から地域に向けた多職種連携
－医療における多職種連携の課題－

資料集

と き 2022年 6月 23 日 (木) 18 時 30 分～20 時

ところ Zoom によるオンライン開催

主 催 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

目 次

1. 第 10 回セミナーの趣旨とプログラム	3
2. 講 演「病院から地域に向けた多職種連携－医療における多職種連携の課題－」 中村 令子 氏 （東北福祉大学健康科学部保健看護学科 教授）	4
3. 【資料①】TFU 実学臨床研究セミナー案内（チラシ）	15
4. 【資料②】東北福祉大学大学院説明会（チラシ）	18
5. 【資料③】TFU 実学臨床研究セミナー実行委員名簿	19

奥 付

第 10 回セミナーの趣旨とプログラム

第 10 回セミナーの趣旨

地域包括システムの構築が進められる中、病院では多職種によるチーム医療の体制が整備されています。早期退院のために質の高い医療を提供し、退院後の療養生活の支援と介護予防、再発予防を継続していくためには、病院内外の多職種との連携・協働が不可欠です。介護・福祉の専門職の皆様と接することも多い看護師が、病院の医療チームの一員として、地域のなかでもどのような役割を果たし、どのような課題を持っているのかをご紹介します。

開催方法 オンライン開催

プログラム

18:30 開会挨拶 田中 尚（東北福祉大学総合福祉学部 教授）

18:35 **講演** 「病院から地域に向けた多職種連携

ー医療における多職種連携の課題ー」

中村 令子 氏 （東北福祉大学健康科学部保健看護学科 教授）

◎ 講演者プロフィール

中村 令子（中村・れいこ）

看護師として脳神経外科、呼吸器内科等に勤務後、2012 年より東北福祉大学健康科学部保健看護学科教授。生活習慣病等の慢性疾患をもつ患者の看護、リハビリテーション看護の講義と病院実習を担当。脳卒中後遺症者の回復期のリハビリテーション看護と再発予防教育に関する研究を行っている。

◎ コーディネーター

田中 尚 氏 （東北福祉大学総合福祉学部 教授）

菊地 知憲 氏 （宮城県医療ソーシャルワーカー協会／

社会医療法人将道会総合南東北病院）

19:30 指定発言と全体討論

20:00 閉会

第10回TFU実学臨床研究セミナー

病院から地域に向けた多職種連携 ー医療における多職種連携の課題ー

令和4年6月23日

東北福祉大学 健康科学部 保健看護学科

中村令子

【本日の話題】

1.地域での多職種連携に向かう看護教育

2.医療における様々な連携

- 1) 急性期医療と在宅をつなぐ多職種チーム
- 2) 急性期のチーム医療

3.生活の場での看護に向けた課題

- 1) 介護施設等における看護職員に求められる役割の明確化と教育体制の整備
- 2) 問題解決から目標達成への転換
- 3) 相互乗り入れチームとしての役割認識

4.まとめ

***印象深い出来事**



1. 地域での多職種連携に向かう看護教育

専門分野臨地実習

専門分野



看護の専門的知識・技術を身につける科目

専門基礎分野



看護を支える医学・保健・福祉・生活に関する知識を身につける科目

基礎分野



看護職者としての教養を身につける科目

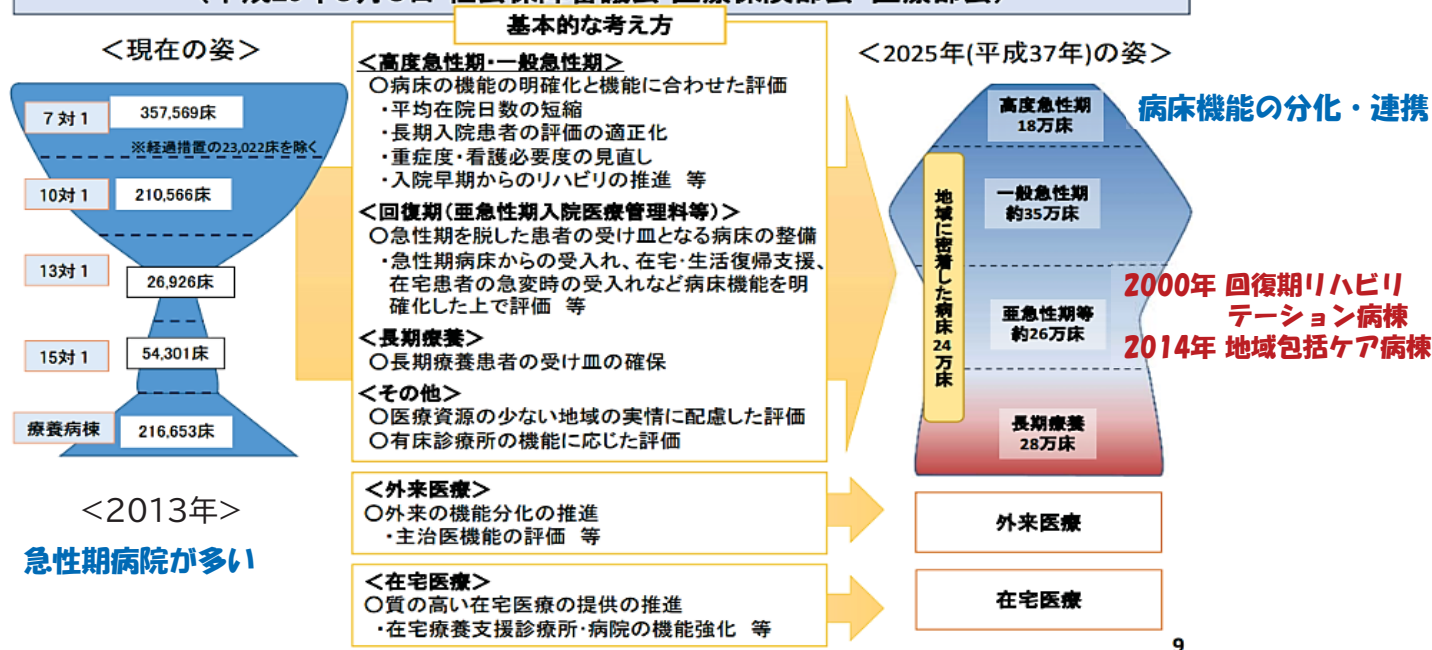
看護専門分野の変化

- ・医療の高度化, 専門分化
- ・看護の場の拡大

			看護の 統合と実践	看護の 統合と実践	看護の 統合と実践
		在宅看護論	在宅看護論	在宅看護論	精神看護学
		精神看護学	精神看護学	精神看護学	母性看護学
	老人看護学	老年看護学	老年看護学	老年看護学	小児看護学
母性看護学	母性看護学	母性看護学	母性看護学	母性看護学	成人看護学
小児看護学	小児看護学	小児看護学	小児看護学	小児看護学	老年看護学
成人看護学	成人看護学	成人看護学	成人看護学	成人看護学	地域・在宅 看護論
看護学総論	基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学	基礎看護学
1967 (昭和42)	1989 (平成1)	1996 (平成8)	2008 (平成20)	2019 (平成31)	2022 (令和4)
看護学が 専門科目に なる	高齢者看護学 の創設	実習施設 の拡大	新卒看護師の 実践力強化		生活者に 対する看護

2000年 介護保険制度
2003年 地域包括ケアシステム提言
2014年 医療介護総合確保推進法

「次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方」(概要)
(平成25年9月6日 社会保障審議会 医療保険部会・医療部会)



* 酸素吸入のため何年も入院している患者さんから看護を学ぶ

『病院完結型』医療から『地域完結型』医療へ

【病院の在院日数】1984年39.7日,2014年16.8日,2021年15.8日

厚生労働省資料「平成26年度診療報酬改定の概要」p9

病院完結型医療➡地域完結型医療

療養の場が、病院から地域・在宅へ➡生活を支える看護の再構築

- ① 早期退院のための質の高い医療
➡病院内の多職種との連携・協働

チーム医療

- ② 継続する療養生活の支援・介護予防・再発予防
➡地域でのチームアプローチ

* 「いらっしゃいませ」から「ごめんください」
在宅看護論実習で初めての訪問看護



とやま地域包括ケアシステム

<http://toyama-chiikihoukatsu.net/about/20220601アクセス>

・看護の場の拡大

2.医療における様々な連携

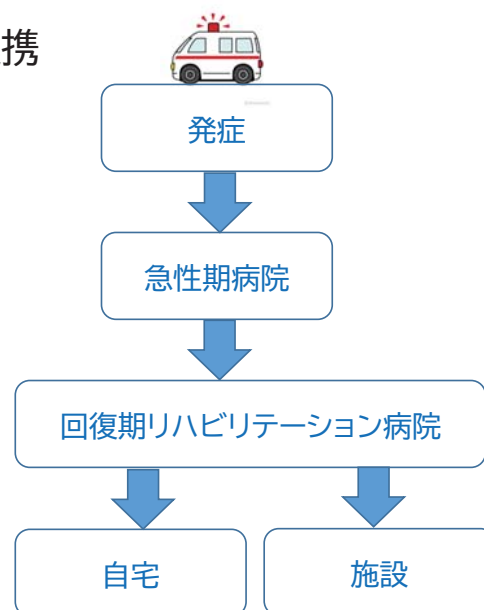
1) 急性期医療と在宅をつなぐ多職種チーム

(1)回復期リハビリテーション病棟

- ・脳血管疾患や大腿骨骨折の急性期治療が終わって、症状が安定した患者が入院する
- ・社会復帰のために医師,看護師,理学療法士,作業療法士,言語聴覚士,医療ソーシャルワーカー,介護士などの多職種が集中的にリハビリテーションを実施する

＊入院できる病気と入院期間が決められている

- ・脳血管疾患や脊髄損傷
発症から2ヵ月以内の転院、最大180日入院
- ・大腿骨や骨盤などの損傷
発症から1ヵ月以内の転院、最大90日入院



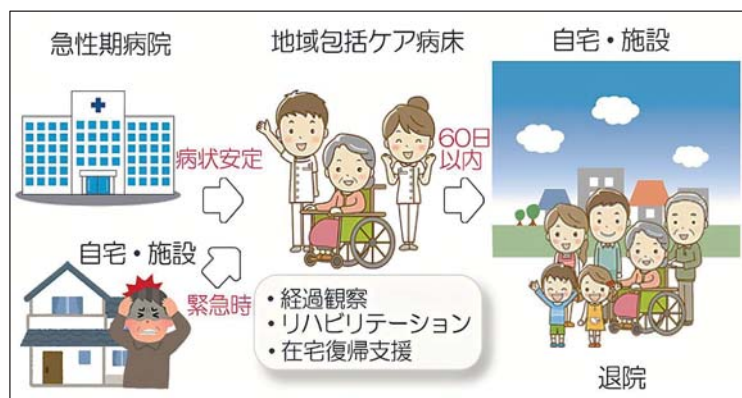
<地域医療連携における情報共有>
地域連携クリニカルパスによる
多組織の連携

7

(2)地域包括ケア病棟

- ・医師,看護師,理学療法士,作業療法士,言語聴覚士,医療ソーシャルワーカー,介護士などの多職種が、**60日の入院期間に在宅復帰のための支援**を行う
- ・病気による入院制限はない
 - ① 急性期病床からの受け入れ
 - ② 在宅や施設からの受け入れ
 - ③ 介護支援のための受け入れ

- ＊リハビリの専門家集団の中で、**看護師は何をすればいいの？**
- ＊退院に向けて、**何をどのように準備をすればいいの？**



竜王リハビリテーション病院 地域包括ケア病床のイメージ
<http://www.ryuo-rhp.or.jp/houkatu.html/20200601アクセス>

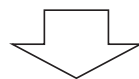
8

→ チーム目標・経過の明確化と共有
各専門職の目標・経過の明確化と共有

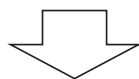


看護の目標
「できるADL」を「しているADL」へ

できるADL
理学・作業・言語：訓練・評価



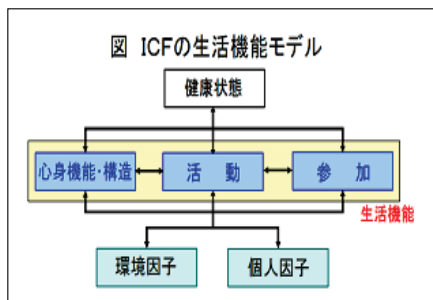
しているADL
看護：病棟生活での実行



するADL
将来の実生活で「するADL」
退院時目標



チームカンファレンス・評価会議での共有

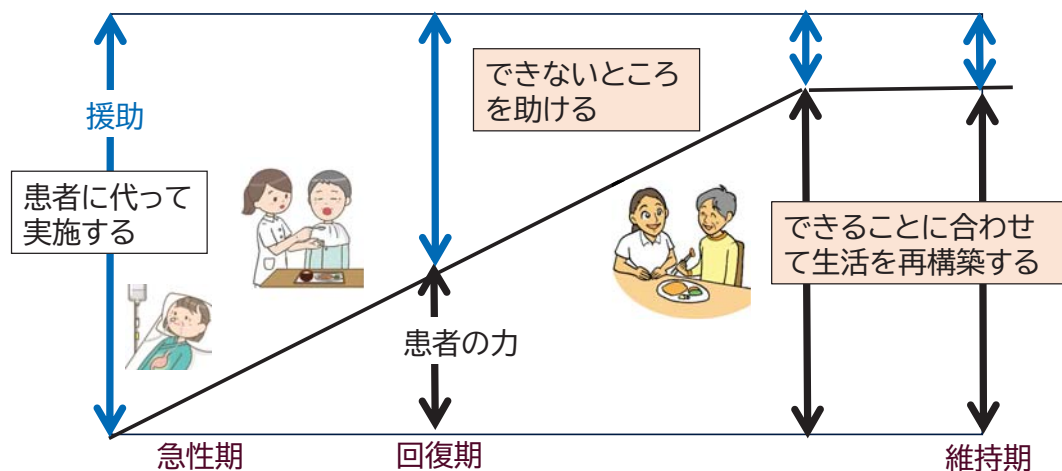


第1回社会保障審議会統計分科会
生活機能分類専門委員会 参考資料(大川)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002ksqi-att/2r9852000002kswb.pdf/20220601アクセス>

9

看護師は、リハビリができるように患者の体調を整える
病棟での生活にリハビリを取り入れる 「待つ」「見守る」「向かい合う」



* 右半身麻痺のある脳卒中後遺症者が、作業療法の更衣動作訓練で
着替えができるようになっているのに、病室では看護師が全介助している



電子カルテシステムによる情報共有



- 電子カルテとは、医療情報を電子データとして管理・編集・記録するシステム
- 会計システム、オーダリングシステム、臨床検査システム、薬剤システムなどをオンラインで連携させて、患者情報として記録する
- 医療機関で管理していたデータを外部で管理するクラウド化が進み、地域包括システムの連携に電子カルテが活用されていく

*オーダリングシステム

医師が看護師や薬剤師などに対して行う指示内容をコンピュータに入力し、正確にかつ迅速に各部門へ伝達するシステム

ER (平成31年02月07日 水曜日 午前11:28:40) 入力者: (医師 次郎)

メニュー: 患者管理 (A) 外来 (C) カルテ (D) オーダー (E) 入院 (F) 検査依頼 (G) 予約 (H) 文書 (I) マスター管理 (J) メール (K) 補助機能 (L) ログアウト

患者ID: 04012874 氏名: 整形 次郎 性別: 男 年齢: 70歳0ヶ月 入院: 0503 基本情報: 登録

診療日: 平成31年02月07日 診療時間: 11:27 現在: 診療日変更 一送00

担当: 医師 次郎

訪問看護指示期間: 開始 平成30年10月04日 Do 終了 Do

点滴注射指示期間: 開始 Do 終了 Do

主たる傷病名(1) 脳梗塞の疑い Do

主たる傷病名(2) 糖尿病の疑い Do

主たる傷病名(3) ウイルス性肝炎の疑い Do

病状・治療状態 右半身麻痺 Do

投薬中の薬剤の用量・用法 アスピリン 500mg Do
クロピドグレル 25mg Do

日常生活自立度
寝たきり度 J1 J2 A1 A2 B1 B2 C1 C2 Do
痴呆の状況 I II III b IIIa IIIb IV M Do

要介護認定の状況
介護度 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 Do
要介護4 要介護5

褥瘡の深さ
NPUAP分類 Do
DESIGN分類 Do

装着・使役用機器等

SOAP記事 医師 次郎 [担当医] 医師 次郎 内科 介護保険

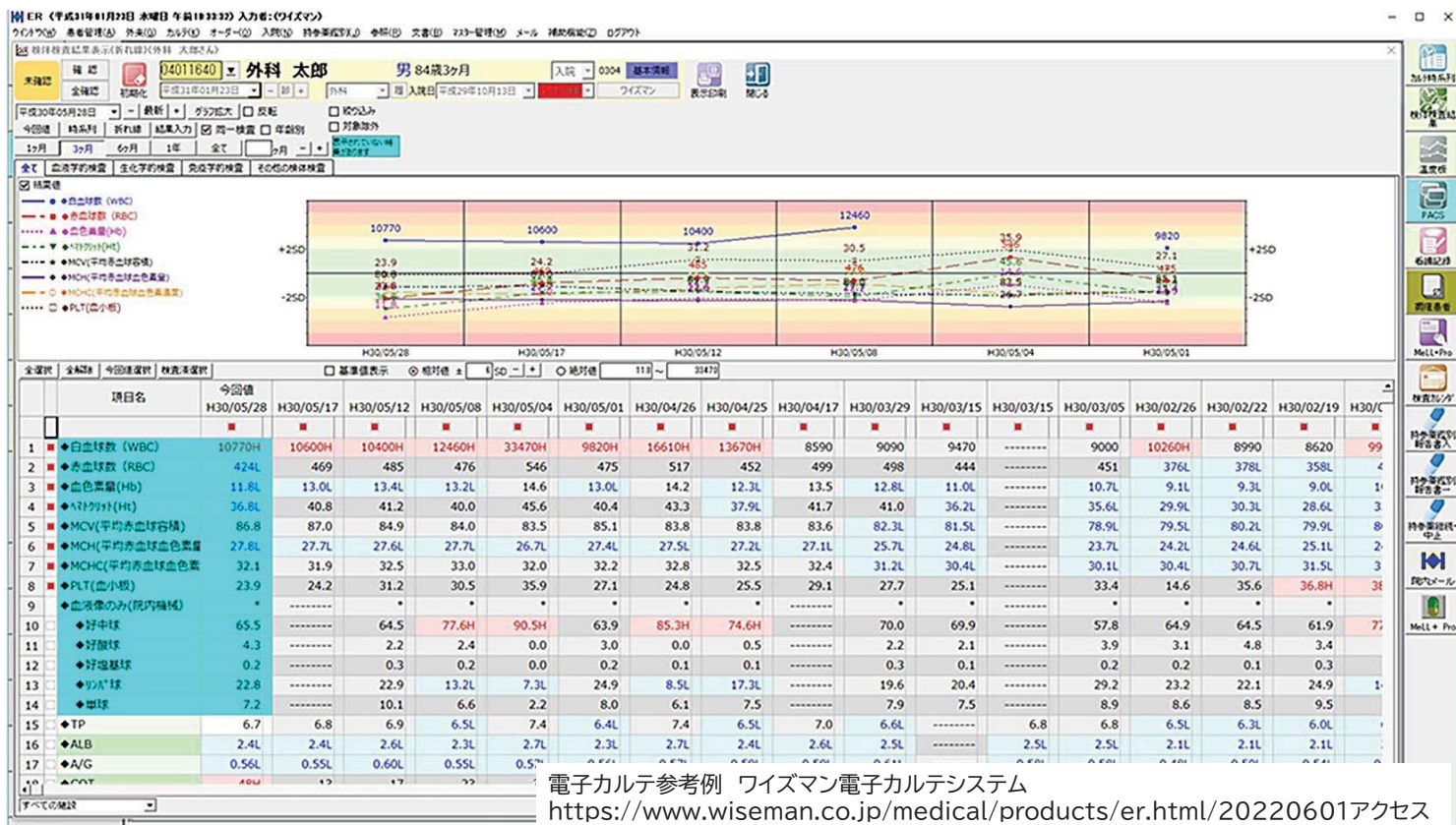
S) 注意
発熱がある。
胸が苦しい。
発熱39度以上。

O) 撮影
胸部X P
右下肺野に浸潤影。
右の肺水貯留。

医師 次郎 10:24

医師 次郎 10:30

電子カルテ参考例 ワイズマン電子カルテシステム
<https://www.wiseman.co.jp/medical/products/er.html/20220601アクセス>



* 他職種が使っている専門用語が分からない

①基礎教育での多職種連携教育

・専門職連携教育の新設

保健医療福祉分野にかかわる専門職が連携して、患者、家族、利用者、地域中心のケアやサービスを実現するために、複数の領域の専門職や学生が互いに学び合い、双方の理解や連携を深める学習

・実習での見学

②継続教育

- ・勤務年数に応じた教育
- ・専門領域の看護師養成



F I M
(Functional Independence Measure)
機能的自立度評価表

運動項目	セルフケア	食事 整容 清拭 更衣・上半身 更衣・下半身 トイレ動作
	排泄 コントロール	排尿管理 排便管理
	移乗	ベッド・椅子・車椅子 トイレ 浴槽・シャワー
	移動	移動手段 歩行 車椅子 階段
認知項目	コミュニケーション	理解 表出
	社会的認知	社会的交流 問題解決 記憶

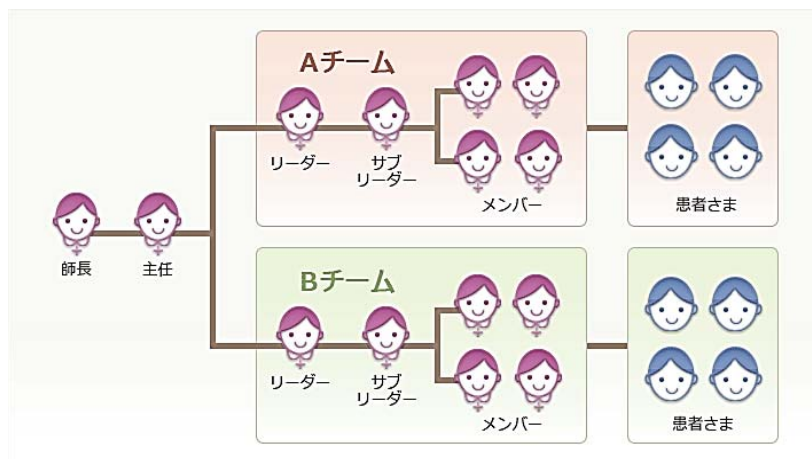
2) 急性期のチーム医療

(1) 看護チーム

・医療の高度化, 専門分化

* チームナーシング

- ・チームごとに一定数の患者を受け持ち、情報を共有しながら看護ケアを実施する
- ・チームメンバーを半年か1年同じにする固定チームナーシングが多い



その他の看護方式

- ・機能別看護方式
- ・プライマリーナーシング

柏市立病院看護部 <https://kashiwa-kango.org/about/20220610アクセス>

* 新人が入ったらチームがうまく機能しなくなった、新人が仕事についていけずに悩んでいる

新人看護職員の卒後臨床研修の強化

<プリセプター制度>

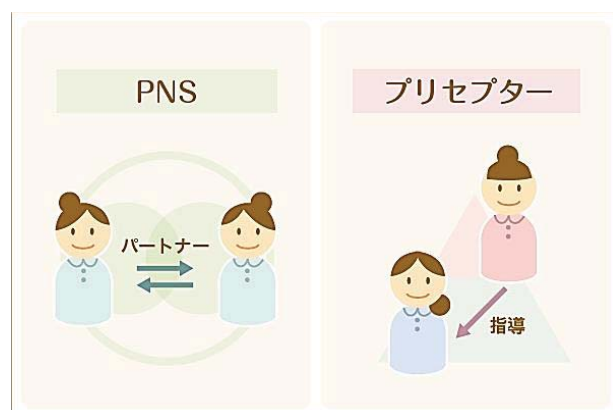
1980年代中頃にアメリカから

- ・ある一定期間、新人1人に対して先輩看護師が1人つき1年間支援する制度

<パートナーシップナーシング>

2009年福井大学医学部附属病院で開発

- ・看護師2人がパートナーとなり、同等の立場で互いに教え合って、協力する看護提供体制
- ・新人は「フレッシュパートナー」として、先輩同士のペアに3人目として入る



看護roo! <https://www.kango-roo.com/work/3258/20220512アクセス>

2) 急性期医療のチーム

(2)多職種による組織横断的なチーム

複数の部門にまたがって編成される

➡病院全体の状況の把握と対応

➡主治医や担当看護師からの依頼によるコンサルテーション

***コンサルテーション:課題に直面している専門職業人から相談を受けた他領域の専門家が、助言を行って間接的に援助すること**



<褥瘡管理(対策)チーム>

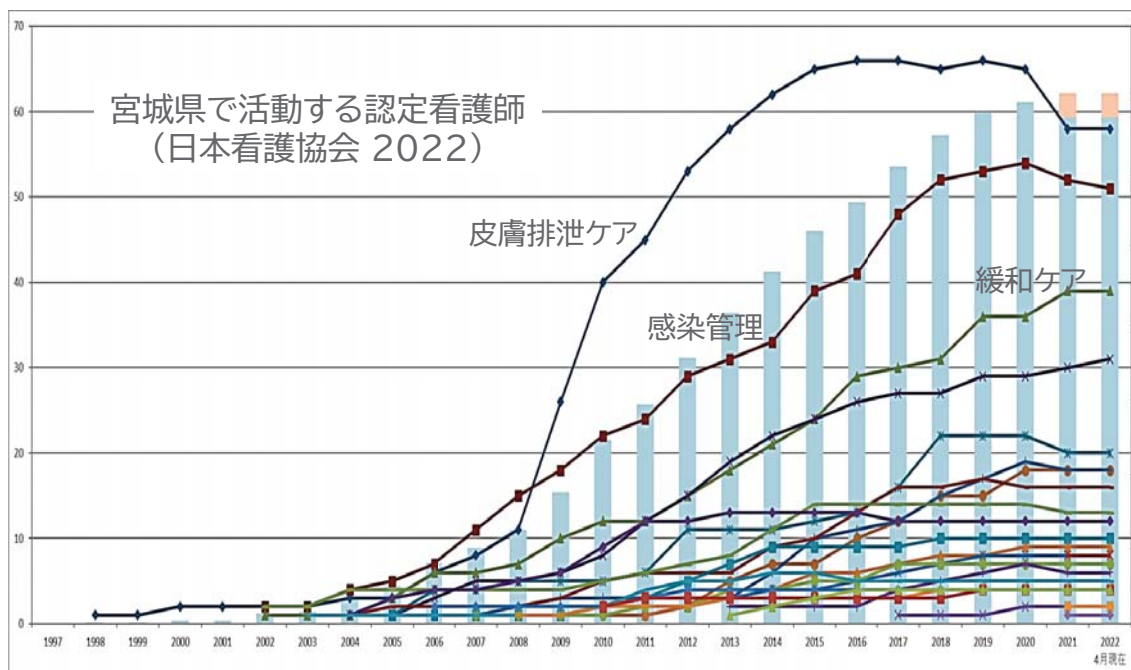
- ・皮膚科医師、形成外科医師、皮膚排泄ケア認定看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士などから構成
- ・重点的なケアが必要な褥瘡患者の回診(1回/週)
- ・褥瘡対策委員会の開催(1回/月)
- 院内の褥瘡予防対策、褥瘡保有患者の検討、新しい知識の勉強会、調査データの報告、検討

<その他のチーム>

- ・感染対策
- ・医療安全管理
- ・栄養サポート
- ・摂食・嚥下サポート
- ・緩和ケア
- ・呼吸管理

***褥瘡を見たことがない学生**

*認定看護師・専門看護師による高度な知識と技術の提供



2020年度認定19分野
(特定行為研修を含む)

感染管理
がん放射線療法看護
がん放薬療法看護
緩和ケア
クリティカルケア
呼吸器疾患看護
在宅ケア
手術看護
小児プライマリケア
新生児集中ケア
心不全看護
腎不全看護
生殖看護
摂食嚥下障害看護
糖尿病看護
乳がん看護
認知症看護
脳卒中看護
皮膚・排泄ケア

3.生活の場での看護に向けた課題

1)介護施設等における看護職員に求められる役割の明確化と教育体制の整備

介護施設等における看護職員に求められる役割とその体制のあり方に関する調査研究事業報告書
平成28年度 日本看護協会

施設看護職員の役割

- ・ 医療ニーズの高い入所者、利用者へのケアの実践
- ・ 利用者の現状の身体状態のアセスメントおよび今後の予測
 - 家族、介護職等と医師との関係のサポート
 - 入所者、利用者が望む療養生活、ターミナルの実現の支援
 - 看取り
- ✓ 利用者を取りまく様々な介護サービス提供者との連携
- ✓ 介護職と協働しチームとして対応できるような仕組みづくり

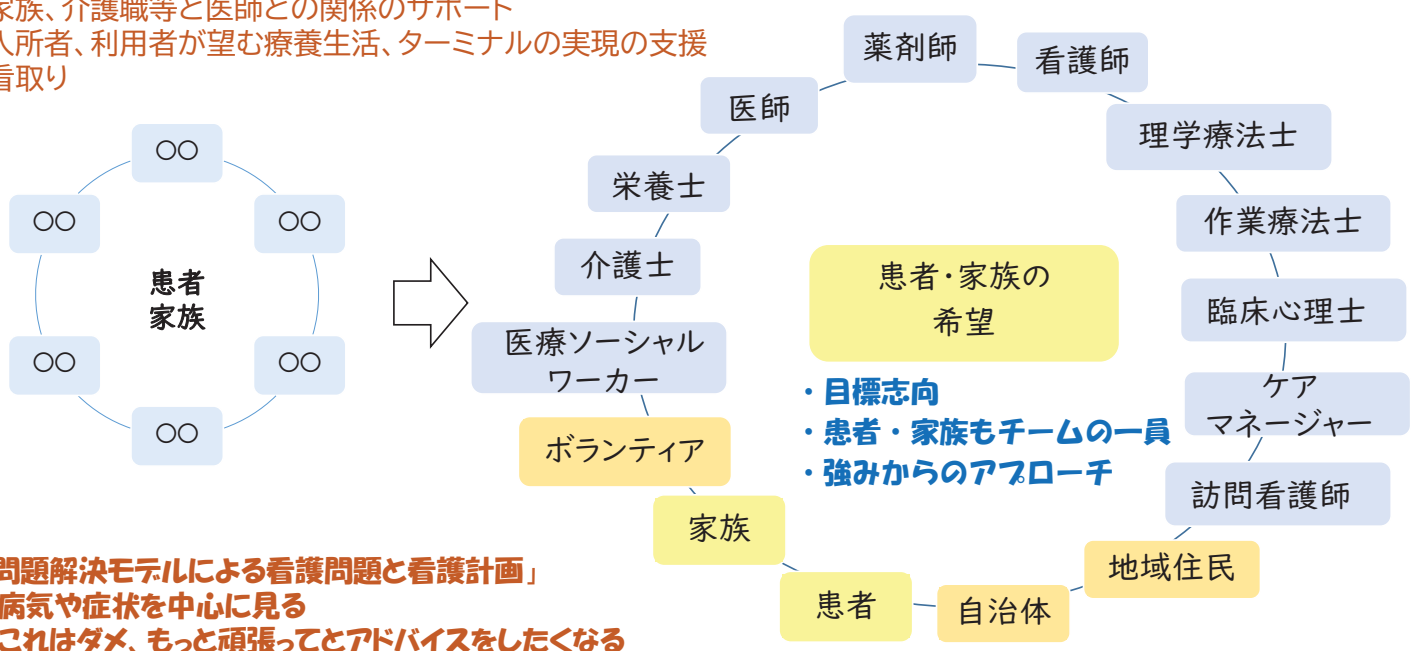
急性期看護とは異なる
知識と技術

要望

- * 施設に勤務する看護職員向けの研修を増やして欲しい。
- * 看護学生等に対し、特養、老健、有料老人ホームなどの看護職員の役割と働きかたの理解を進めて欲しい。

2)問題解決から目標達成への転換

- 家族、介護職等と医師との関係のサポート
- 入所者、利用者が望む療養生活、ターミナルの実現の支援
- 看取り

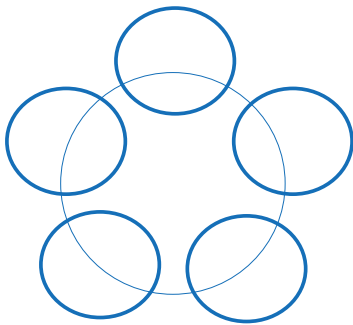


3)相互乗り入れチームとしての役割認識

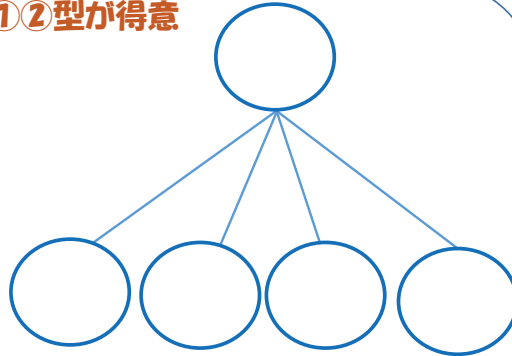
- ✓ 利用者を取りまく様々な介護サービス提供者との連携
- ✓ 介護職と協働しチームとして対応できるような仕組みづくり



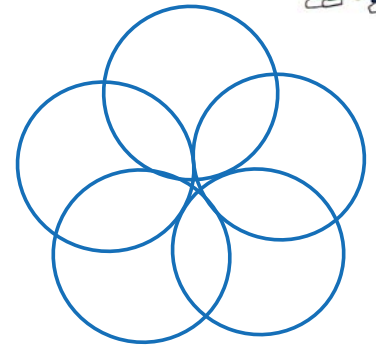
* 看護師は①②型が得意



①相互関係チーム
独立・分業型
(回復期リハビリテーション)



②多職種チーム
指示・命令型
(救急医療・急性期治療)



③相互乗り入れチーム
相互・調整型
(生活期リハビリテーション)

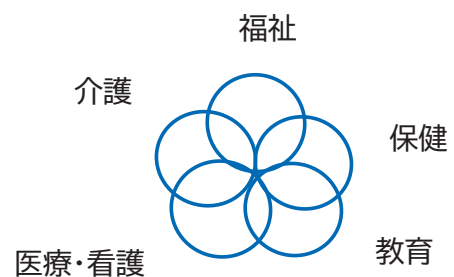
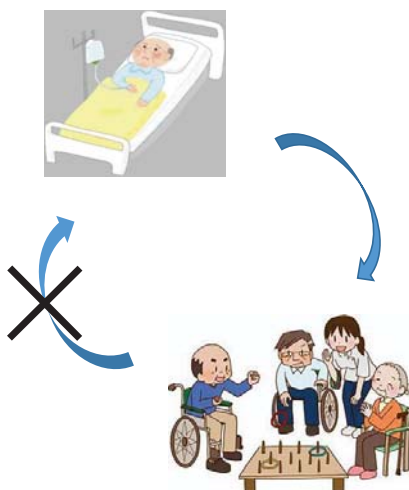
4.まとめ

地域包括ケアシステム

「住まい」「介護」「予防」「生活支援」

時々「医療・看護」

* 迎えに来た施設の職員さんに見せた患者さんの笑顔



TFU 実学臨床研究 セミナー

生活困窮者支援を考える
～子どもの貧困支援を中心として～

2022 年 7 月 28 日 (木) 18 時 30 分 ～ 20 時

方 法 Zoom によるオンライン開催 Zoom 情報は後日送付します

講 師 阿部 裕二 氏 (東北福祉大学総合福祉学部福祉行政学科 教授)

大橋 雄介 氏 (NPO 法人アスイク 代表理事、社会福祉法人明日育福祉会 理事長)

コーディネータ 清水 冬樹 氏 (東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 准教授) 他

プログラム 情報提供 60 分, 意見交換 20 分

参加方法 無料 Web(Peatix)申込み <https://tfu-jitsugaku-seminar22.peatix.com/view>

◆ 第11回セミナー趣旨

わが国において、7 人に 1 人の子どもたちが貧困状態にあるといわれています。さらに、コロナ禍、地震などの自然災害に直面している子どものいる世帯の生活困窮(生活課題)も浮き彫りになっています。そして、子どもの貧困問題を解決するため、政府の「子供の未来応援プロジェクト」をはじめとしたさまざまな活動が、個人や団体によって各地で行われています。本セミナーでは、宮城県内で被災者支援から子どもの貧困問題へと取り組んできた NPO 法人の活動からみた、子どもや保護者など現状や具体的な支援策そして課題について考えます。

◆ 講師プロフィール

阿部 裕二 (あべ・ゆうじ)

専門は社会保障、公的扶助。年金政策の在り方の研究の他、地域食堂などの居場所づくりに関する実践研究にも取り組んでいる。(主な著書)『貧困に対する支援』(共著)弘文堂 2022 年、『ケアマネ、生活相談員、生活支援員のための 社会保障制度がわかる本』(監修)ナツメ社 2021 年、『新版 格差社会論』(共著)同文館 2019 年、『社会保障』(共著)弘文堂 2019 年など

大橋 雄介 (おおはし・ゆうすけ)

東日本大震災直後にアスイクを設立し、震災で顕在化した子どもの貧困など、生きづらさを抱える子ども・若者の問題に取り組んでいる。日本青年会議所「人間力大賞」会頭特別賞受賞。宮城県子ども・子育て会議委員、仙台市子ども・子育て会議委員など。(主な著書)「3・11 被災地子ども白書」など

◆ 企画・運営:TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

福祉等関係専門職の生涯キャリア形成を目指す

第12回

TFU 実学臨床研究 セミナー

第1報

福祉系職能団体と考える

孤立孤独対策

コラボ企画

2022年8月20日(土) 13時～16時30分

方法 Zoomによるオンライン開催 Zoom情報は後日送付します

東北福祉大学 仙台駅東口キャンパスより配信いたします

講師 真壁 さおり 氏 (宮城県社会福祉士会)

渡部 裕一 氏 (宮城県精神保健福祉士協会)

菊地 知憲 氏 (宮城県医療ソーシャルワーカー協会)

コーディネータ 調整中

プログラム 情報提供(講演) , 意見交換

参加方法 無料 Web(Peatix)申込み

<https://tfu-jitsugaku-seminar22.peatix.com/view>



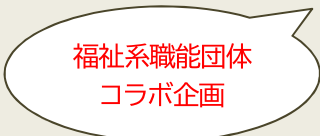
◆ 企画・運営 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

共催 宮城県社会福祉士会、宮城県精神保健福祉士協会、宮城県医療ソーシャルワーカー協会

TFU 実学臨床研究

◆ 2022 年度のスケジュール【予定】

※テーマ・日程は変更される場合もございます

回	月	テーマ / 講師
8	終了	触法障害者の『入口支援』を巡る課題を考える
9	終了	認知症の人と家族の一体的支援
10	6/23 【今回】	病院から地域にむけた多職種連携 中村 令子 氏（東北福祉大学健康科学部 教授）
11	7/28 【次回】	生活困窮者支援を考える 阿部 裕二 氏（東北福祉大学総合福祉学部 教授） 大橋 雄介 氏（NPO 法人アスイク 代表理事 他）
12	8/20	孤立孤独対策を考える  福祉系職能団体 コラボ企画 真壁さおり 氏（宮城県社会福祉士会） 渡部 裕一 氏（宮城県精神保健福祉士協会） 菊地 知憲 氏（宮城県医療ソーシャルワーカー協会）
13	9/30	大学院時代の研究活動・生活を振り返る 三浦 剛 氏（東北福祉大学総合福祉学部 教授） 他
14	10/28	多様性を育む社会・教育を目指して 大西 孝志 氏（東北福祉大学教育学部 教授）
15	11/25	高齢者虐待を防ぐ福祉現場の取り組み 吉川 悠貴 氏（東北福祉大学総合福祉学部 准教授）
16	12/16	国際的な社会福祉の動向 – 多文化共生にむけて 大橋 雅啓 氏（東日本国際大学健康福祉学部 教授）
17	1/	※調整中
18	2/16	これからの介護福祉人材の養成について 二渡 努 氏（東北福祉大学総合福祉学部 講師）
19	3/2	震災と子ども支援 清水 冬樹 氏（東北福祉大学総合福祉学部 准教授）

◆【月例】TFU 実学臨床研究セミナー開設の趣旨

こんにち家族や地域社会が変化し多様化する中で、人々の幸せやより豊かな生活を願い、複雑化する支援ニーズに向き合う対人援助の専門職の皆さんは、絶えず新しい知識を身に付け、成長し、新しく生じる問題に対応する力量を身に付けることが求められています。

「行学一如」を建学の精神とする東北福祉大学(TFU)は、実践の質を継続して高め、問題解決力を身につけるための学びの機会を提供する取組み、月例「実学臨床研究セミナー」を開催することにいたしました。

福祉現場など実践の場のイマを見つめ、これから求められる対人専門職人材の育成や成長、キャリア形成を考える機会になれば幸いです。

東北福祉大学大学院

合同(通学・通信)説明会

- 総合福祉学研究科 社会福祉学専攻<通学> <通信>
福祉心理学専攻<通学: 臨床心理学分野/福祉心理学分野^{New!}> <通信>
- 教育学研究科 教育学専攻 <通学>

「実践力および実践研究力」を
身につけて、社会で活躍する
人材育成を目指す大学院です

現職のまま「学びの継続が
できる」柔軟な教育プログラ
ムを提供! ※臨床心理学分野を除く

7/23(土)

10:30~12:00

受付開始 9:30 **※要予約**

●場 所

本学仙台駅東口キャンパス 7 階
仙台市宮城野区榴岡 2-5-26
TEL: 022-766-8833
(J R 仙台駅徒歩 3 分、地下鉄東西線宮城
野通駅徒歩 3 分)
アクセスマップ
<https://www.tfu.ac.jp/access/higashiguchi-campus.html>

●対 象

本学大学院への進学に関心のある方。
学部生の方も、社会人の方も、ご参加を歓迎しております。

●予約方法

メールでご予約下さい。 graduate@tfu.ac.jp
(7 月 21 日締切)
お名前、ご連絡先、ご希望の専攻、通学・
通信のどちらを検討しているかをお知らせ
ください。

●説明会内容

- ・各専攻の説明
 - ・大学院生との語らい
 - ・質疑応答
- ※終了後、個別相談に応じます。

再開! 福祉心理学分野(通学)

2023 年度より福祉心理学分野のカリキュラムをリニューアルします。福祉、教育、医療などの専門職はもちろん、公務員や一般企業をはじめ、広くウェルビーイングに関わる人に心理的支援の考え方を修得していただけます。

お問い合わせ先

東北福祉大学 大学院事務室(ウェルコム 21 事務室)

TEL: 022-727-2288

【資料③】 2022年度 TFU実学臨床研究セミナー 実行委員名簿

No	名前	所属等
学外委員		
1	中里 仁 氏	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの杜
2	設楽 順一 氏	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの杜ものう
3	野田 毅 氏	社会福祉法人東北福祉会・本部事務局／せんだんの里
4	水澤 里志 氏	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの里
5	青木 ルミ子 氏	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの館
6	土井 勝幸 氏	医療法人社団東北福祉会・せんだんの丘
7	加藤 誠 氏	医療法人社団東北福祉会・せんだんの丘
8	大橋 雅啓 氏	全国・宮城県・福島県精神保健福祉士協会 / 東日本国際大学
9	菊地 知憲 氏	宮城県医療ソーシャルワーカー協会 / 総合南東北病院
10	小林 紀代 氏	宮城県社会福祉士会 / 多賀城市保健福祉部子育て支援課
11	菅原 幸枝 氏	宮城県精神保健福祉士協会 / 鹿島記念病院
12	阿部 一彦 氏	仙台市障害者福祉協会
学内委員		
13	阿部 哲也	総合福祉学部
14	阿部 利江	総合福祉学部
15	石黒 亨	総合福祉学部
16	石附 敬	総合福祉学部
17	大島 巖	総合福祉学部
18	佐藤 俊人	総合福祉学部
19	佐藤 善久	健康科学部
20	清水 冬樹	総合福祉学部
21	高橋 誠一	総合マネジメント学部
22	竹之内 章代	総合福祉学部
23	田中 尚	総合福祉学部
24	中村 令子	健康科学部
25	芳賀 恭司	総合福祉学部
26	二渡 努	総合福祉学部
27	三浦 剛	総合福祉学部
28	吉田 孝	教務部 教務課
29	菅野 陽子	教務部 教務課
事務局		教務部 実学臨床教育推進室 [総務部 PR課／ICT支援室 広報・情報システム関連協力]

※2022/06/01現在

第 10 回 TFU 実学臨床研究セミナー 資料集

病院から地域に向けた多職種連携
－医療における多職種連携の課題－

発行日 2022 年 6 月 23 日

主 催 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会

編集・発行 TFU 実学臨床研究セミナー実行委員会事務局

TEL : 022-717-3359 FAX : 022-301-1293 E-mail kenkyu-seminar@tfu.ac.jp
